

題目「私たちの行く道」

求道者というのはいつも食欲に神様の願いがどこにあるかを祈り尋ねている人たちのことです。当事者意識という言葉聞いたことがあるでしょうか。教会で起きていることも、社会で起きていることも、脳内で批判したり分析することは誰にだってできます。しかし自分がその問題に責任を持つと思ったら軽率な批判はできません。統一原理のみ言葉を訓読する時もそうです。神様のみ言葉は時に審判される内容だってあります。常に原理を他人ごとのように聞かないで自分の課題として受け止めなさいということです。

アブラハムがイサク献祭を勝利していなければ、その後のメシアを迎える歴史はやって来ませんでした。イサクを燔祭の供え物に捧げる行為は、神様がアダムを失なった痛みを我々に見せて下さるために与えた試練だったわけです。試練には何段階もレベルがありますが、最初はサタンからの外的な試練です。これは自分が神様にしっかりと繋がってれば何とか克服できます。たとえ迫害を受けても、あの人たちは原理のみ言葉を知らないのだから、とまだ我慢ができます。しかし次のアベル圏からの否定の試練は、最初の外からの否定よりも辛いし本当に胸が痛いものです。でもこれも神様と一つになっていけば何とか克服はできるでしょう。しかし、最大で最後の試練は神様からの否定です。イサク献祭は、まさにこの最上レベルの試練でした。

この試練は簡単ではないですが、私たちはこの段階の試練ということを中心に刻みながら人生の峠を越えていきたいものです。精誠とは、信仰を持って与え続け、尽くし続け、勝利へ向けあきらめず貫くことです。来る日も来る日も精誠を尽くせば、信仰によって岩も動かすことができるのです。当事者意識がなければ何でも周りのせいにしてしまいます。「今のは環境が悪かった」「上司の指示が足りなかった」「親の問題があった」などと、自分の責任を否定して楽な立場で批判するのです。神様の立場に立てばそうではないでしょう。

アフリカ大陸で華々しい祝福の証しが立っています。南アフリカでは27年間にもわたり投獄されていたマンデラ大統領が出獄した際、「全てを許す！」と宣言しました。恩讐を愛し許したその愛の勝利を土台として今の大きな役事が起きています。そしてこの度、アメリカ・ラスベガスで家庭連合の大きな大会が行われました。人類の真のお母様である韓鶴子総裁の今回のラスベガス巡回は南アフリカでの祝福式が非常に大きな影響がありました。南アフリカのアフリカ宗教サミットで家庭連合の祝福式が行われ、黙示録教会の創始者であるサミュエル・ハデベ預言者が真のお母様である韓総裁を絶賛されました。このハデベ預言者の存在が大きかったのです。ラスベガス大会では、ダン・バートン元下院議員が韓総裁を証ししました。アメリカは牧師の影響が強いです。

特に世界的に今、キリスト教会が真のお母様と一つとなろうとしているのが素晴らしいです。摂理の進展を感じます。宗教を越えて世界がお母様を中心として一つになろうとしています。目的は国連改革です。私たちは国連が当たり前のように思っていますが、第2次世界大戦が起こった後に国連が出発しました。摂理の方向性は、いかに国連を素晴らしいものにしていけるかです。神様の復帰摂理の最終理想は世界を一つの方向へ進めていくことです。

来月は、日本で初めての岡山の県議会議員や市議会議員の先生方が先祖解怨を行い天寶修練苑へ出発します。現職の政治家の人たちが教会のみ言葉を理解して先祖解怨を受けるのは日本の教会では初のことです。そういった意味で岡山教区は非常に注目されています。いずれは岡山県知事が教会で祝福を受け、行政挙げて祝福が行われるようにしていけたらと願います。岡山の社会指導者たちが真のお母様に侍ることができるようになることが目標です。世界に必要とされる人材が岡山から輩出されることが希望なのです。そのためにはまず、自分が変わらなければなりません。自分を変えようとすると多くの人と接し、多くのことをすることが大切です。いろいろな人と接することが必要です。いいアイデアを出してくれる人は、自分たちのグループ外の人と接している人です。

私たちは歴史を学ぶことが神様の心情を知ることになるのです。真のお母様である韓鶴子総裁は韓国、日本、アメリカを特に意識しています。韓国が立つために、日本、アメリカが必要です。今回の南アフリカの勝利圏が大きいのです。私たちの家庭の問題を解決するために他の家庭、学校、行政が必要です。「ウリヌンハナダ」の精神が必要です。私たちは自らの墮落性を越えて一つになることが大切です。家庭連合の名前が目標です。一つになることです。避けて通ることができないのが統一です。人類が一つの家族になることが目標です。様々な壁を乗り越えていきましょう。「統一」とは対立する者同士が歩み寄って一つになることです。10月には名古屋で4万名の大会、9月には大阪で青年の1万名大会が行われます。自らの祝福家庭が先頭を切って、神氏族メシヤ推進に向けて頑張っていくみましょう。